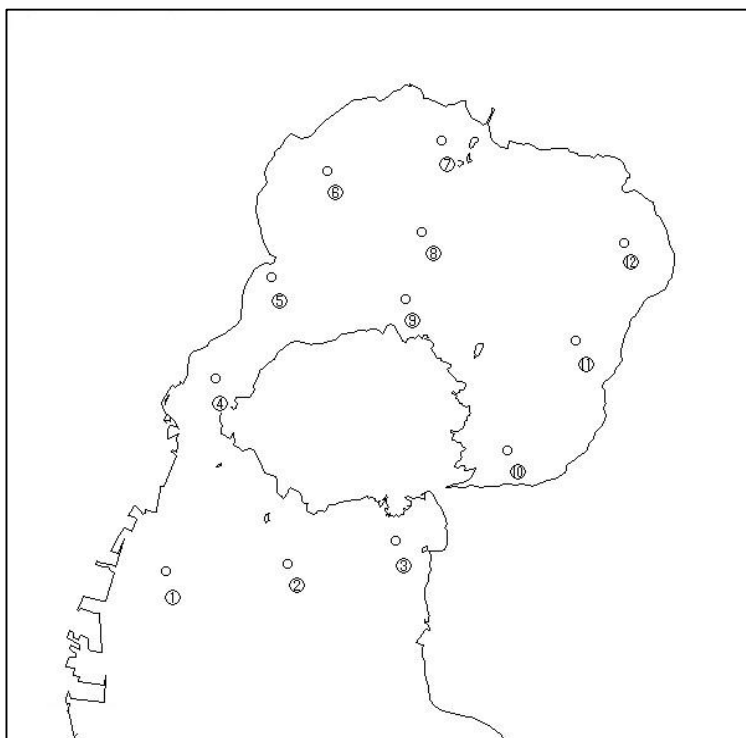


鹿児島湾水質調査結果

[調査日：平成22年9月13日]



調査点	水 温		塩 分	溶 存 酸 素		透明度	無機態窒素 (DIN)	無機態りん (DIP)	ケイ酸態ケイ素 (SiO ₂)	クロロフィル a
	0m	10m		0m	10m					
単 位	℃	℃		mg/l	mg/l	m	μg-at/l	μg-at/l	μg-at/l	μg/l
①	28.1	27.6	31.1	6.7	6.4	11.0	1.1	0.04	12	0.8
②	28.4	28.3	31.2	6.7	6.6	11.0	0.8	0.03	5	0.6
③	29.7	29.2	31.2	7.3	6.6	7.0	0.4	0.03	1	1.7
④	28.3	27.6	30.6	6.6	6.2	11.0	0.5	0.03	4	0.6
⑤	28.3	27.1	30.6	6.3	5.4	11.0	0.7	0.02	4	0.6
⑥	28.3	27.9	30.1	6.6	6.4	12.0	0.4	0.02	18	0.7
⑦	28.7	27.9	30.3	6.5	6.3	13.0	0.8	0.01	11	0.4
⑧	28.8	27.6	30.2	6.6	6.1	14.0	0.5	0.01	17	0.1
⑨	28.9	27.3	30.2	6.6	6.1	11.0	0.9	0.02	9	0.2
⑩	28.6	27.3	30.4	6.5	5.8	15.0	1.1	0.02	11	0.1
⑪	28.4	28.2	30.6	6.3	6.1	14.0	1.9	0.04	6	0.4
⑫	29.2	28.4	29.4	6.6	6.3	11.0	1.0	0.05	24	0.5
平 均	28.6	27.8	30.4	6.6	6.1	11.7	0.9	0.02	10	0.5
平年値	28	26.7	31.2	7.4	5.6	5.6	1.3	0.10	11	9.5

※ 平年値は平成1～21年の9月の平均値

- 表層水温平均：28.6℃（平年比 +0.6℃）
- 透明度：湾奥部では、植物プランクトン量が少なく、透明度が高い状況でした。
- 溶存酸素量：表層では平年値よりやや低め、10m層では平年値と同程度でした。なお、4.0mg/lを下回る貧酸素水は、水深30m以浅においては確認されませんでした。
- 栄養塩類濃度：栄養塩類の濃度は平年値と比べ、特にリンが低めでした。
 - ・ DIN（平均値）：0.9μg-at/l（平年比 -0.4μg-at/l）
 - ・ DIP（平均値）：0.02μg-at/l（平年比 -0.08μg-at/l）